一般家庭用

パーソナル加湿器

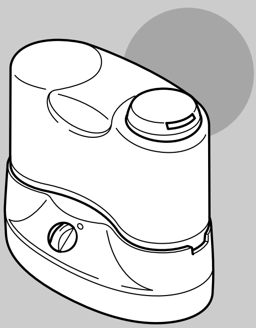
形名：TSK200

取扱説明書

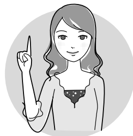
保証書付き

保証書は、裏表紙に付いております。
販売店にて必ず記入を受け、大切に
保管してください。

お買い上げありがとうございました。
ご使用になる前に、この取扱説明書を必ずお読みいただき、正しくご使用ください。
お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。



もくじ



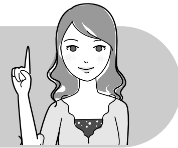












安全上のご注意

- ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、製品を正しく安全にお使いいただき、お使いになる人や他の人々への危害や財産の損害を未然に防ぐためのものです。必ずお守りください。
- 注意事項は次のように区分しています。

⚠警告
誤った扱いをすると、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

⚠注意
誤った扱いをすると、人が傷害を負う可能性や物的損害のみの発生が想定される内容を示します。

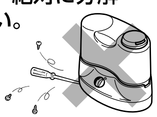
絵表示の例

記号は、「してはいけないこと」の内容をお知らせするものです。
（左図の場合は分解禁止）

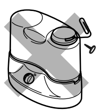
記号は、「しなければならないこと（強制）」の内容をお知らせするものです。
（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く）

⚠警告

分解禁止
修理技術者以外は、絶対に分解・修理・改造をしない。
発火・感電・けがの恐れがあります。

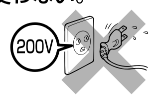


禁止
吹出しノズルや安全スイッチのすき間にピンや針金などの異物を入れない。
けが・感電の恐れがあります。



禁止
お手入れに塩素系・酸性系の洗剤を使用しない。
洗剤から有毒ガスが発生し、健康を害する恐れがあります。

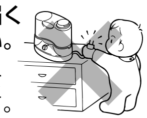
禁止
交流100V以外で使わない。（日本国内専用）
発火・感電の恐れがあります。



水場禁止
水洗いしない。水をかけない。
吹出しノズルから水が入り、本製品が破損する恐れがあります。



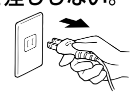
禁止
子供や幼児の手の届く場所には保管しない。
子供や幼児がけがをする恐れがあります。



禁止
子供だけで使わせない。幼児の手の届く所で使わない。
子供や幼児がけが・感電をする恐れがあります。

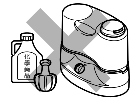


電源プラグを抜く
お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜く。また、ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。
けが・感電の恐れがあります。

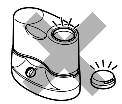


⚠注意

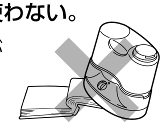
必ず守る
タンク内に温水（40℃以上）・化学薬品・汚れた水・芳香剤などを入れない。
本製品が破損する恐れがあります。



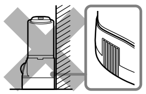
禁止
吹出しノズルやタンクをはずした状態で使わない。
本製品が破損する恐れがあります。



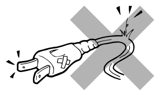
禁止
不安定な所では使わない。
けがをする恐れがあります。



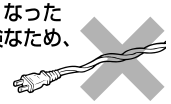
禁止
吸気口をふさぐ恐れのあるところで使わない。
発火・感電の恐れがあります。



禁止
電源コードや電源プラグが傷んだ時は使わない。
差し込みのゆるいコンセントは使わない。
発火・感電の恐れがあります。



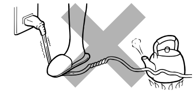
禁止
ねじれが戻らなくなった電源コードは危険なため、使わない。



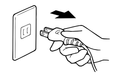
禁止
本製品は家庭用なので、業務用として使わない。

禁止
電源コードは下記のように扱わない。
- 無理に曲げない
- ねじらない
- 引っ張らない
- 重いものをのせない
- 熱いものに近付けない

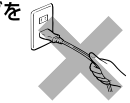
電源コードが傷む恐れがあります。



電源プラグを抜く
使用時以外は、必ず電源プラグをコンセントから抜く。
発火・感電の恐れがあります。



必ず守る
コンセントから電源プラグを抜く時は、電源プラグを持って抜く。
電源プラグを傷める恐れがあります。



必ず守る
タンクの水は毎日新しい水道水と入れ替え、本体水そう部も毎日お手入れし、常に清潔にして使う。
お手入れせずに使い続けると、汚れや水アカで加湿量が低下したり、カビや雑菌が繁殖し悪臭がする場合があります。
また、まれに体質によっては過敏に反応するなど、健康に影響を及ぼす場合があります。
使用時は、必ずお手入れをおこなってください。





故障かな？と思ったら

下記のことをお確かめになり、それでも調子が悪いときはただちにご使用を中止し、お買い上げの販売店、または5ページ記載の連絡先までご相談ください。

こんなときは	考えられる原因	こう処置してください
霧が出ない、 または少ない。	● タンクに水が入っていない。 ● 水平な場所に置かれていない。 ● 振動子や水量センサーにミネラルが付着している。 ● 水が冷たすぎる。 ● 水量センサーまで水が浸かっていない。 ● タンクキャップ内の弁に汚れが付着し、スプリングが引っ掛かっている。 ● ファンが回っていない。	● タンクに給水する。 ● 水平な場所に置く。 ● 振動子や水量センサーのお手入れをする。 ● 常温の水を入れる。 ● タンクの水量を確認して、再度セットする。 ● タンクキャップを水洗いして、スプリングがなめらかに作動するように点検する。 ● お買い上げの販売店、または5ページ記載の連絡先までご相談ください。
窓や家具に結露する。	● 湿度が高すぎる。	● 使用を中止するか、操作ツマミを「LO」にする。
煙が出る。 電源コードがねじれて戻らなくなった。		ただちに使用を中止し、5ページ記載の連絡先までご相談ください。

仕様

品名	パーソナル加湿器（超音波式）	使用水	水道水
形名	TSK200	加湿能力	約130ml/h（HI） 約80ml/h（LO）
電源	AC100V　50/60Hz		
消費電力	15W	連続加湿時間	約12時間（HI時）
寸法	高さ226×幅240×奥行123（mm）	タンク容量	1.9リットル
重量	約1.4Kg（水なし）	コード長さ	1.9m



アフターサービスについて

1.保証書について ――――― 保証期間はお買い上げ日より1年間です。

この取扱説明書には裏面に商品の保証書が付いています。保証書はお買い上げ販売店で「販売店名・お買い上げ日」などの記入をご確認の上、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

2.修理を依頼されるとき

- 保証期間中は商品に保証書を添えてお買い上げ販売店にご持参ください。保証書の記載内容にそって修理いたします。
- 保証期間が過ぎているときはお買い上げ販売店にご相談ください。修理により使用できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。

3.補修用性能部品の保有期間

当社では、この商品の補修用性能部品（商品の機能を維持するために必要な部品）の保有期間は製造打ち切り後6年としております。

4.ご使用中にふだんと変わった状態になったとき

ただちにご使用を中止し、お買い上げ販売店に点検・修理をご依頼ください。お客様ご自身での分解修理は危険です。（修理には特殊な技術が必要です。）

5.アフターサービスについてご不明の点があるとき

お買い上げ販売店にお問い合わせください。

- ご転居により、お買い上げ販売店のアフターサービスを受けられなくなる場合は、事前に販売店にご相談ください。
- **ご贈答品などで、お買い上げ販売店のアフターサービスを受けられない場合は、5ページ記載の連絡先にお問い合わせください**。

愛情点検

『長年ご使用のパーソナル加湿器の点検を！』

- ご使用前に必ず電源コードに傷などがないか、タンクにひびや割れなどがないかお確かめください。

〈無料修理規定〉

お買い上げ日から保証期間中に、取扱説明書、本体ラベルなどの注意書に従った正常な使用状態で故障した場合には、本書記載内容に基づき、お買い上げ販売店が無料修理いたしますので商品と本保証書をご持参ご提示の上、お買い上げ販売店にご依頼ください。

1. 保証期間内でも次のような場合には有料修理となります。
   ①使用上の誤り、改造や不当な修理による故障または損傷。
   ②お買い上げ後の落下、引っ越し、輸送などによる故障または損傷。
   ③火災、地震、水害、落雷などの天災ならびに公害や異常電圧などの外部要因による故障または損傷。
   ④業務用としての使用、車両、船舶への搭載など一般家庭用以外に使用された場合の故障または損傷。
   ⑤本書の提示がない場合。
   ⑥本書にお買い上げ日、お客様名、販売店名の記入のない場合あるいは字句を書き換えられた場合。
2. ご転居の場合は事前にお買い上げ販売店にご相談ください。
3. ご贈答品などで本書に記入してあるお買い上げ販売店に修理を依頼されることができない場合は、下記連絡先にお問い合わせください。
4. 本書は日本国内においてのみ有効です。(This warranty is valid only in Japan.)
5. 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

●修理メモ

●この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げ販売店または下記の連絡先にお問い合わせください。
●保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくは「アフターサービスについて」の項をご覧ください。
●当製品の保証書にご記入いただいた、お客様の個人情報は、修理・交換品の発送のみに使用し、それ以外の目的で使用したり、第三者に提供する事は一切ございません。

保　証　書

持込修理

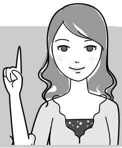
品　名	パーソナル加湿器	形　名	TSK200	保証対象	本体
保証期間	お買い上げ年月日より **1年間**	★お買い上げ年月日	年　月　日		

★お客様		★販売店	
	ご芳名　様 ご住所(〒　　) お電話		住所・店名 電話

販売元
角田無線電機株式会社
〒350-0227 埼玉県坂戸市仲町2-10
フリーダイヤル 0120-999-343

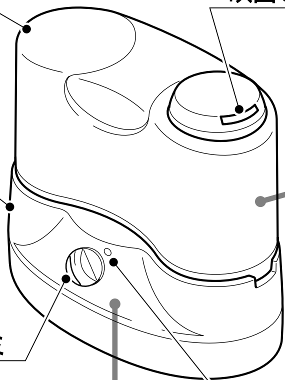
製造元
株式会社テスコム
www.tescom-japan.co.jp
本社／東京都品川区西五反田 5-5-7
工場／長野県松本市筑摩 4-1-20
フリーコール 携帯・PHS OK 0120-106-018 FAX: 0263-25-0808

9254-1

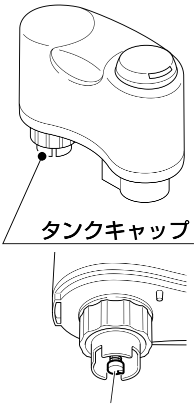


各部のなまえとはたらき

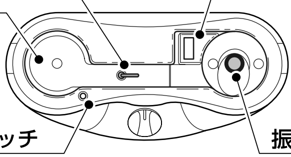
前 面

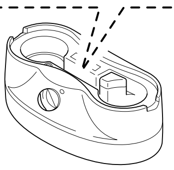


タンク

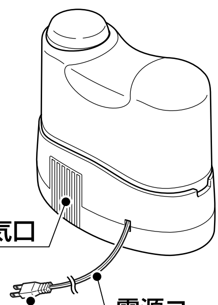


水量センサー・振動子





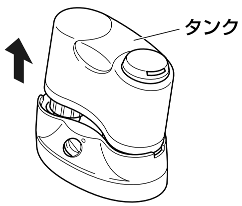
背 面





1 本体からタンクをはずして逆さにし、タンクキャップをはずして給水する。

● 必ずきれいな水道水を入れてください。

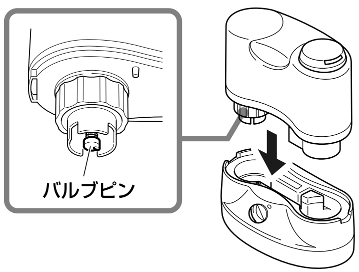




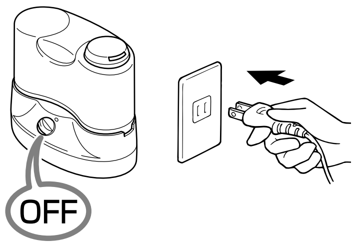
● 給水後、タンクキャップを確実に締め、タンクに付いた水滴を拭き取ってください。

2 タンクを本体に取り付ける。

● タンクを持つ際、バルブピンを押さないようにしてください。水が漏れます。



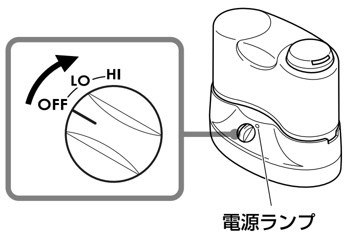
3 操作ツマミが「OFF」になっていることを確認し、電源プラグをコンセントへ差し込む。



4 操作ツマミを「LO」または「HI」にする。

● 電源ランプが緑色に点灯します。

● 吹出しノズルを回転させて、お好みの方向に調整してください。



● タンクから水がなくなると電源ランプが赤色に変わります。

※操作ツマミを「OFF」にしないままタンクから水がなくなると、水量センサーが感知し、振動子（加湿機能）と送風が停止し、電源ランプが赤色に点灯します。

● タンクから水がなくなったら、操作ツマミを「OFF」にして給水してください。

知っておいていただきたいこと

● 使用する水について

水質によっては、水中に溶けているカルシウムやマグネシウムなどが白い粉となって、家具やテレビなどに付着することがあります。このような場合は早めに柔らかい布で拭き取ってください。

● 室温や湿度が高い（70%以上）場合の使用について

室温や湿度が高い場合は、霧が空気中に溶け込まず家具や床が湿ったり濡れたりすることがあります。このような場合は使用を中止し、すぐに濡れた場所を拭いてください。また1m以上の高い場所に設置し「LO」で使用すると、霧がすぐに家具や床に下降しないので湿りや濡れを多少防ぐことができます。

● テレビ・ラジオの受信状態が悪い地域での使用について

テレビ・ラジオの受信状態が悪い地域で加湿器を使用すると、テレビ・ラジオに雑音が入る場合があります。このような場合は加湿器をテレビ・ラジオの本体やアンテナからできるだけ離し、独立したコンセントで使用してください。

● 炎色反応について

加湿器を燃焼器具などの近くで使用すると、水中に溶けているカルシウムなどが炎と反応して赤みを帯びることがありますが、危険はありません。

● 寒冷地での使用について

寒冷地など凍結の恐れがある場合は、タンク内と水そう部の水を捨ててください。タンクが割れたり、故障の原因となります。万一、凍結した場合は、完全に溶けてからタンクの状態を確認して使用してください。

● 設置場所について

向かい風が当たる場所や床の上などには置かないでください。湿度が高い場合は床や台などが濡れます。また窓や冷たい壁に霧がかかると水滴となって窓や壁、床に着くことがあり、カビなどが発生することがあるので、風通しの良い場所で使用してください。

● 壁や家具への影響について

壁や家具、電気製品などに霧がかからないように、場所や吹出しノズルの方向に注意してください。電気製品が故障したり、壁や家具が変形したり、シミ（カビ）などが発生する場合があります。

● 室温への影響について

加湿器を使用すると室温が下がることがあります。お休みになる時は「LO」または電源を切ってください。

● 加湿能力について

本製品は簡易式ですので、お部屋全体の加湿には十分でないことがあります。



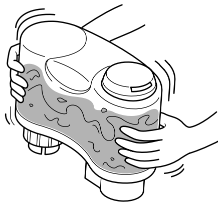
お手入れのしかた

必ず操作ツマミを「OFF」にして、電源プラグを抜いてから お手入れをしてください。

- 使用中、内部が水アカやゴミで汚れると、加湿量が低下したり悪臭やカビの原因になることがあるので、**タンクの水は毎日新しい水道水と入れ替え、水そう部に残っている水も毎日捨ててください。**
- カビや雑菌が繁殖すると体質によっては健康を害する恐れがあるので、下記の要領でお手入れして清潔な状態を保ち、きれいな水道水を使用してください。
- 長期にわたって使用すると電源プラグとコンセントの間に水分やホコリが付着することがあるので、電源プラグを抜き、乾いた布で拭き取ってください。

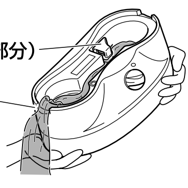
タンク内

- タンク内に水道水を半分ほど入れ、タンクキャップを締めてタンクを振り洗いして排水してください。これを2〜3回繰り返します。
- 使用中は毎日おこなってください。

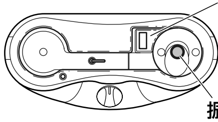


水そう部・振動子

- タンクを本体からはずし、**送風口（赤い部分）に水が入らないように**、水そう部に残っている水を捨ててください。



- 綿棒や柔らかい布で振動子表面や水そう部の水アカを拭き取ってください。給水ごとにおこなうと快適にお使いいただけます。**特に振動子の水アカは十分除去してください。**



本　体

- やわらかい布を「石ケン水」や「水で薄めた中性洗剤」に浸し、よくしぼってからよごれを拭いた後、乾いた布で石ケンや洗剤が残らないように拭き取ってください。

ご注意

- **ベンジン・シンナー・アルカリ洗剤・金属たわし・磨き粉・漂白剤・化学ぞうきんをよごれ落としとして使わない。**
- **金属性のもので振動子をこすらない。**
- **石ケンや洗剤は、水に混ざると加湿量が減少することがあるので、タンク内や水そう部のお手入れに使わない。**
- **お手入れの際に水量センサーを変形させないように十分注意する。**